

## 研修会事務局からのお知らせ

- ① アンケート（出席確認）
- ② 今後の協議会・研修会予定
- ③ 第1回協議会アンケート結果
- ④ 相談支援システムとコロナ禍活動報告



# ①-a アンケート（9問）に回答のお願い



令和2年度  
第2回都道府県肝炎疾患診療連携拠点病院間連絡協議会  
医師・責任者向け研修会  
出席確認&アンケートのお願い



下記QRコードを利用してスマートフォンからでも可能

本日は令和2年度第2回都道府県肝炎疾患診療連携拠点病院間連絡協議会、医師・責任者向け研修会Web配信をご視聴いただきまして、誠にありがとうございました。お手数ですがアンケートへのご回答をお願い申し上げます。アンケート配信によって本会議の参加確認いたしますので、URLQRコードより必ずご回答ください（匿名・mail addressは匿名化されます。アンケート回答は出席状況より非返信を確定後、情報センターからリマインドさせていただきます。ご了承ください。また、返答期限を維持するために、ご回答にご賛同がありましたら記載くだされば幸いです。当日ご回答いたします。

■お名前を入力してください。

姓  名

氏名(入力)

■所属を選択してください。

所属 (プルダウン)

■職種を選択してください。

職種 (プルダウン)

■上記で選択された職種の年数を入力してください。

年  月

年数(入力)

■視聴形態を選択してください。

視聴方法 (プルダウン)

■お名前と所属を選択してください。

■メールアドレスを入力してください。

確認のためもう一度入力してください。

ご記入いただいた個人情報は、令和2年度第2回都道府県肝炎疾患診療連携拠点病院間連絡協議会、医師・責任者向け研修会の開催報告およびアンケートの分析に関する範囲で利用します。  
また、当該情報について上記の目的のため当センターよりご連絡を差し上げる事があります。  
その他の目的に個人情報を利用する場合は、利用目的を予めお知らせし、ご了解を得た上で実施いたします。  
利用を希望されない場合は、停止の請求に際しますのでお申し出ください。

■個人情報保護方針

<http://www.ncgm.go.jp/privacy/index.html>

■個人情報に関するお問い合わせ

肝炎・免疫研究センター  
アンケート回収担当事務局

個人情報の提供に同意いただける方は下記の項目を手チェックしてください。

同意する

「次へ」押して登録

次へ



出席確認を兼ねていますので  
必ず返信をお願いします

# ①-b 活動事例・田中班への質問があれば記入を(左) 研修会に参加していない方も回答を(右)



令和2年度  
第2回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会、  
医師・責任者向け研修会  
出席確認&アンケートのお願い



令和2年度  
第2回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会、  
医師・責任者向け研修会  
出席確認&アンケートのお願い



4) 「肝炎ウイルス感染状況の把握及び肝炎ウイルス排除への方策に資する疫学研究(田中班)」について、  
を以下の中からお選び下さい。(1つ選択)

- 大変参考になった
- 多少は参考になった
- どちらともいえない
- あまり参考にならなかった
- 全く参考にならなかった

発表に対するご質問

5) 医師・責任者向け研修会で取り上げて欲しいテーマを選んでください(複数可)

a. 最新情報

- ウイルス肝炎 (B・C型)
- ウイルス肝炎 (B・C型以外)
- 自己免疫性肝疾患 (AIH、PBC等)
- 肝硬変 (サルコペニア、再生、線維化含)
- 非アルコール性脂肪肝炎
- アルコール性肝疾患
- 肝がん
- AMED等の基礎研究
- COVID19関連
- その他にあれば

戻る

次へ

戻る

次へ

未回答があれば終了できません

# ①-c 来年度の開催方式を1つ選択 (左) 最後の画面を確認し登録を(右)

令和2年度  
第2回都道府県肝炎診療連携拠点病院間連絡協議会、  
医師・責任者向け研修会  
出席確認&アンケートのお願い

8) 来年度、第1回目肝炎診療連携拠点病院間連絡協議会を2021年7月9日(金)東京コンファレンスセンター(品川)で予定しておりますが、ご意見をお聞かせください。(1つ選択)

- 録画web配信
- 状況を確認しつつできるだけ集まった方がよい
- Live (現地+web)
- Live (現地+web) +終了後オンデマンド配信
- どちらともいえない
- その他

戻る 次へ

令和2年度  
第2回都道府県肝炎診療連携拠点病院間連絡協議会、  
医師・責任者向け研修会  
出席確認&アンケートのお願い

## 全問の確認

- 名前を入力してください。  
氏名 姓
- 所属を選択してください。  
ほろが学医中野保健福祉部 附属センター
- 職種を選択してください。  
医師
- 上記で選択された職種の専攻を入力してください。  
消化
- 所属病院を選択してください。  
消化
- 研修科目を選択してください。  
消化内科
- メールアドレスを入力してください。  
090-8888-1234@doc.jp

個人情報の登録に際しては入力する情報は以下の情報をマスキングして表示し、  
送信する。

- 1) 本年度の研修センター開催場所の名称についてお聞かせください。(1つ選択)  
第1回研修センター(品川)開催
- 2) 研修開催地/会場・医師向け研修会+web配信に選択された会場以下を選択して下さい。(1つ選択)  
大会会場になった
- 3) 「両会場での研修参加(オンライン併用)」についてお聞かせ下さい。(1つ選択)  
大会会場になった

確認に対する回答

- 4) 「併発ウイルス感染状況の把握及び研修の円滑化への役割に関する医学研究(研修用)」についてお聞かせ下さい。(1つ選択)  
大会会場になった

確認に対する回答

- 5) 研修・医師向け研修会を取り上げて欲しいテーマを選んでください(複数可)  
a. 最新情報  
COVID-19関連
- 5) 研修・医師向け研修会を取り上げて欲しいテーマを選んでください(複数可)  
a. 最新情報  
研修用・最新情報  
研修用・最新情報

研修用・最新情報

- 6) 今回の研修参加web配信について、現状にお意見を聞かせください。(1つ選択)  
研修用

研修用

- 7) 研修用PDF資料、研修用セミナー資料のWordを印刷して取り寄りますかについてお聞かせください。(1つ選択)  
Yes/No/Both

- 8) 来年度、第1回目研修会開催地品川保健福祉部品川研修センター(品川)で予定しておりますが、ご意見をお聞かせください。(1つ選択)  
Live (現地+web) + 終了後オンデマンド配信

- 9) 研修・研修参加確認・確認するにあたって、ご意見をいただければ幸いです。

戻る 確定

登録後にThanks mailが届きます

登録して終了

## ②肝炎情報センター主催研修会予定

- 肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会 通常年1回（3月 1泊2日）

⇒**2021年3月初旬から期間限定web配信**⇒視聴登録を

特別講演:大阪大学人間科学研究科 平井准教授

行動変容学 なぜ医師と患者がすれ違うのか？

好事例：相談支援システム等(2施設)

企画：コロナ禍の活動報告リレー動画(8施設)

- 令和3年度第1回拠点病院連絡協議会・医師向け研修会

⇒**2021年7月9日(金)** (東京コンファレンスセンター品川確保)

期間限定配信に加え 現地+live(ハイブリッド)も検討

⇒アンケート結果を参考に

# ③-a 第1回連絡協議会アンケート結果(参加数)

事前登録数 220名  
欠席数 6名  
当日参加数 11名  
参加数 225名

アンケート回収 218名  
(97%)

年度	回数	参加数	アンケート数	率
H29	第1回	138	131	95%
	第2回	123	111	90%
H30	第1回	136	127	93%
	第2回	139	118	85%
R1	第1回	141	120	85%
	第2回	144	135	94%
	平均	137	123.7	90%

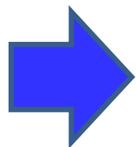
**web(録画)開催で  
参加人数・回収率が増加**

# ③-b 第1回連絡協議会アンケート結果(再生推移)

再生回数 353回

	7月10日 (金)	33回	←	配信開始
<u>配信日 : 45%</u>	7月11日 (土)	147回		
	7月13日 (月)	154回	←	追加視聴者登録開始
<u>週明け : 25%</u>	7月14日 (火)	173回		
	7月15日 (水)	274回		
<u>終了前+リマインド : 30%</u>	7月16日 (木)	274回	←	アンケートリマインド
	7月17日 (金)	353回		

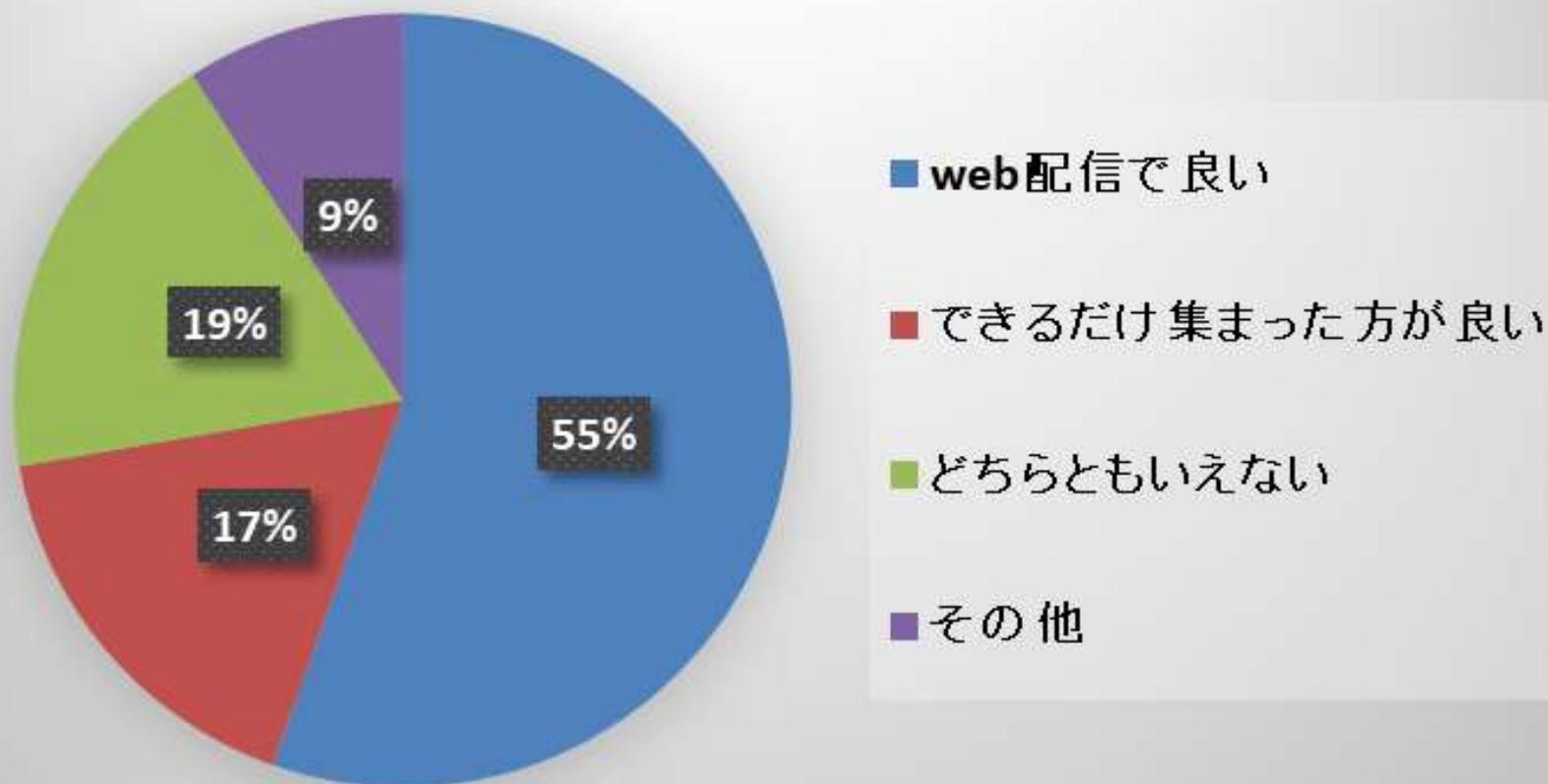
**YouTube: 再生回数upが遅れる・容易にダウンロード可能・  
ユニークユーザー数/動画視聴完遂率も不明・PW不可**



**今回はVimeoを使用**

# ③-c 第1回連絡協議会アンケート結果(web配信)

web配信について(n=220)



**Web配信がpopularとなった今回は？**

(アンケート全結果は配布資料の最後の参考資料をご参考ください)

# ③-c 第1回連絡協議会アンケート結果(自由記載)

## 1. webで良いと回答した自由記載

- 聞きなれない言葉や聞き逃した部分を戻って再度確認可能
- COVID-19の鎮静化まではweb配信が望ましい
- 予算、時間の面からWebでも十分

## 2.できるだけ集まると回答した自由記載

- 制限がなければ直接顔をかわせるコミュニケーションは重要
- 現状ではweb配信の方が良い
- 夏季集合・冬季web

## 3.どちらとも言えない・その他と回答した自由記載

- 講義のみではなくディスカッションも必要(LIVE)
- 感染が落ち着いても、web開催と対面式を織り交ぜて開催(ハイブリッド、夏季集合/冬季web)
- 医師は集会・交流が必要かもしれないが、事務担当はwebで十分
- 外来を休まなくても良い
- 音声を出せないなので、字幕を見たが誤字、漢字の変換ミスが多く確認した方が良い

(アンケート全結果は配布資料の最後の参考資料をご参考ください)

# ④ 相談支援システムとコロナ禍活動報告

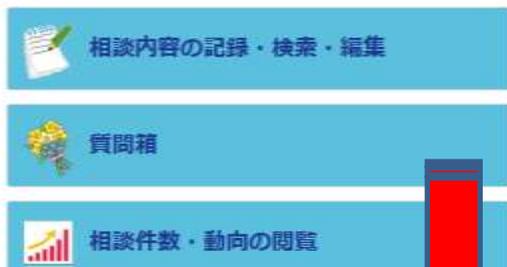


相談件数（マンスリーレポート1月より）  
 平成 30 年度: 19527 件 (調査票)  
 令和元年度: 14082 件 (システム利用)  
 令和 2 年度12月 9365 件 (昨年度より 1470 件減)

件数の減少は  
 システム入力に手間？  
 入力する内容に選別？  
 ⇒件数以外の評価要

## 【NEWS】

- 2019/12/27 TOPメニューの「あなたならどう答えますか？」の名称を「質問箱」に変更し、表示位置を2番目にしました。
- 2019/12/25 相談記録の画面で、「未選択」表示を「何れが選択」に変更しました。

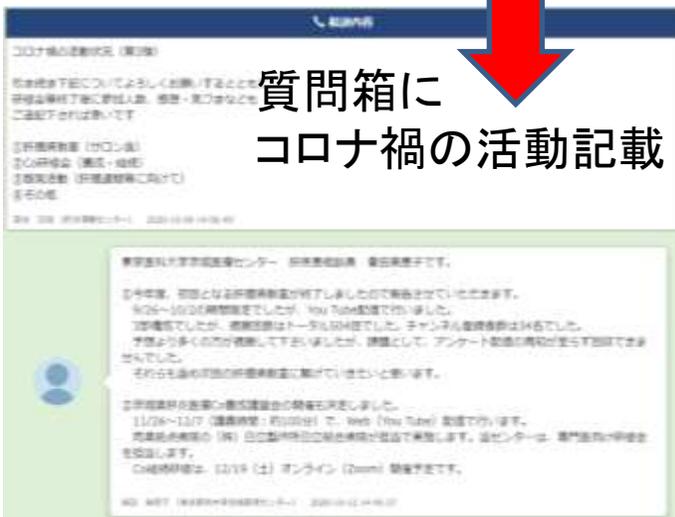


施設名 (件数順)	登録件数/施設の登録実績ユーザ数	平均自由記述文字数	平均未入力項目数	多評価
①	1317.0	460.5	0.1	①
②	157.3	74.7	1.1	⑧
③	228.3	257.4	0.6	⑨
④	449.5	177.2	0.6	④
⑤	671.0	152.7	0.1	⑥
⑥	322.0	417.2	0.6	⑩
⑦	209.3	108.5	0.9	⑤
⑧	188.7	669.4	0.6	⑫
⑨	541.0	238.6	0.2	⑭
⑩	505.0	411.9	0.6	⑱

相談・支援センター向け研修会で紹介

- ①相談件数  
 ②相談日から入力日の期間  
 ③必須項目未入力数  
 ④回答欄の自由記載字数  
 ⑤アクション数  
 ⑥対面相談率  
 ● ● ●

質問箱に  
 コロナ禍の活動記載



・59施設から報告有(43都道府県)  
 院内肝臓病教室↓もHPでYouTubeで講義を  
 CO養成講座  
 WEB開催済:20 WEB検討:4  
 集合型開催済:8  
 未定・検討;8 中止:3  
 ⇒相談・支援センター向け研修会で1部紹介

# Facebook/HPでも活動報告をお願いします（動画も編集します） ⇒せめてAgendaだけでもお送りくだされば幸いです

🚶 ユーザー別で探す

一般・患者の方へ	
保育関係者の方へ	高齢者施設の方へ
働く方へ	産業保健関係者の方へ
医療関係者の方へ	肝疾患診療連携拠点病院関係者の方へ

📖 カテゴリー別で探す

センターの取り組み	全国の拠点病院の紹介と取り組み
都道府県・市町村の取り組み	病気について
医療・福祉の制度やサービス	日常生活の場での注意点
B型肝炎の母子感染について	関連主要通知・診療ガイドライン等

新着情報    研修会・連絡協議会    **拠点病院の取り組み**    一覧

2020年12月18日	虎の門病院（取り組み事例：肝臓病教室）
2020年12月8日	岡山大学病院（取り組み事例：岡山大学医学部保健学科にて肝炎講義）
2020年11月25日	広島大学病院（取り組み事例：肝臓病教室）
2020年11月20日	徳島大学病院（取り組み事例：肝臓病教室、家族支援講座）
2020年11月20日	徳島大学病院（取り組み事例：肝炎医療コーディネータースキルアップWEB研修会）
2020年11月20日	徳島大学病院（取り組み事例：肝炎医療従事者研修会）
2020年11月20日	徳島大学病院（取り組み事例：肝炎医療コーディネータースキルアップWEB研修会）
2020年10月28日	岡山大学病院（取り組み事例：肝炎医療従事者研修会）
2020年10月23日	鳥取大学医学部附属病院（取り組み事例：肝炎ウイルス受検啓発CM）
2020年9月23日	虎の門病院（取り組み事例：肝疾患診療連携拠点病院研修会）

肝炎情報センター facebook

知って、肝炎 Hepatitis Think Again

肝ナビ 肝炎医療ナビゲーションシステム

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

肝疾患診療連携拠点病院の現状調査結果 (平成21年度～令和元年度)

B型肝炎の教育資料

参加型プログラム 誰でも簡単にできる 肝炎体操



Facebook/HPでも活動報告をお願いします（動画も編集します）  
⇒せめてAgendaだけでもお送りくだされば幸いです



国立国際医療研究センター 肝炎情報センター

@kanen.ncgm

ホーム

レビュー

写真

投稿

基本データ

コミュニティ

ページを作成



いいね! シェア 編集を提案 ...

メッセージを送る

写真

自宅で学べる 参加費無料 (通信料別)

広島大学病院 肝疾患相談室 主催  
2020年度 第3回  
**肝臓病教室開催のご案内**  
ご自宅からパソコンやスマートフォンで視聴いただけます

「肝疾患と運動」  
講師：広島大学病院 病院診療支援部  
リハビリテーション部門  
筆保 健一 理学療法士

<講演動画 視聴期間>  
2021年2月15日(月) ~ 3月15日(月)

申し込み 不要

当院のホームページについて

感染リスクが高まる「5つの場面」

とら肝NEWS Vol.02

国立国際医療研究センター 肝炎情報センター  
医療研究センター

コミュニティ

すべて見る

480人が「いいね！」しました

531人がフォローしています

基本データ

すべて見る

272-8516 千葉県市川市  
千葉県市川市国府台1-7-1

国立国際医療研究センター 肝炎情報センターに  
Messengerで連絡

www.kanen.ncgm.go.jp/index.html

医療研究センター

# 引き続き医師・責任者向け研修会もご視聴ください (アンケートも忘れずに)

## 1. NAFLD/NASHの最近の動向

### アンケートから講義

13:00～13:50  
愛知医科大学 米田 政志

## 2. パネルディスカッション ～肝炎対策地域ブロック戦略合同会議の情報共有～

13:50～

### ◆アンケート集計報告 (10分)

### ブロック会議の共有

### ◆自治体事例報告 (発表12分 質疑3分)

中国四国ブロック 広島県健康福祉局業務課 三野 恵実

北海道東北ブロック 青森県健康福祉部がん・生活習慣

### ◆討論 (30分)

- ・4年が経過したブロック会議の今後 (開催地、内容、今後の進め方等)
- ・Co養成・肝がん助成・地方公共団体との連携・職域肝炎ウイルス検査

進行: 考藤 達哉

登壇: R元年度ブロック世話人

札幌医科大学附属病院 佐々木 茂  
信州大学医学部附属病院 松本 晶博  
名古屋市立大学病院 田中 靖人  
福井県済生会病院 野ツ保 和夫  
山口大学医学部附属病院 坂井田 功 (代理 日高 勲)  
佐賀大学医学部附属病院 江口 有一郎  
自治体発表者 (三野 恵実、清水 孝平)

医師・責任者向け研修会プログラムはこちら

## 田中班の成果・ブロック会議アンケート結果

2021年1月22日～2月1日限定 web 配信

### ○対象

都道府県肝疾患診療連携拠点病院の医師、事業担当者および事務担当者

### ○プログラム

1. 政策研究班からの進行状況  
肝炎ウイルス感染状況の把握及び肝炎ウイルス排除への方策に資する疫学研究 (田中班)  
広島大学 大学院医歯薬保健学研究院 疫学・疾病制御学教授 田中 純子
2. 令和2年度肝炎対策ブロック戦略会議の概略とアンケート結果

室長 是永 匡紹  
(1～2: 動画 3)

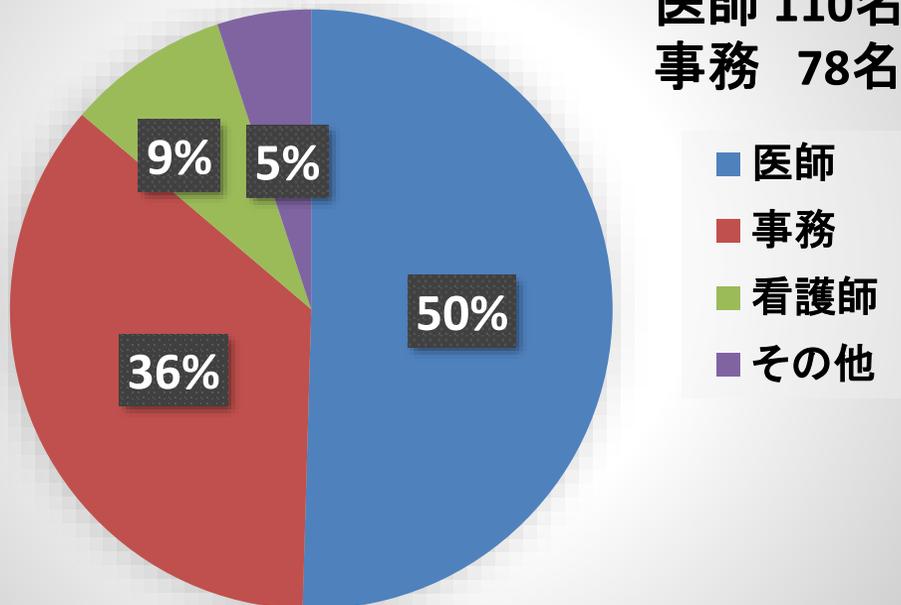
## 参考資料

令和2年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会  
アンケート結果

# 参加職種

医師・事務以外が視聴 事務上職の参加は向上せず

参加者職種(n=218)



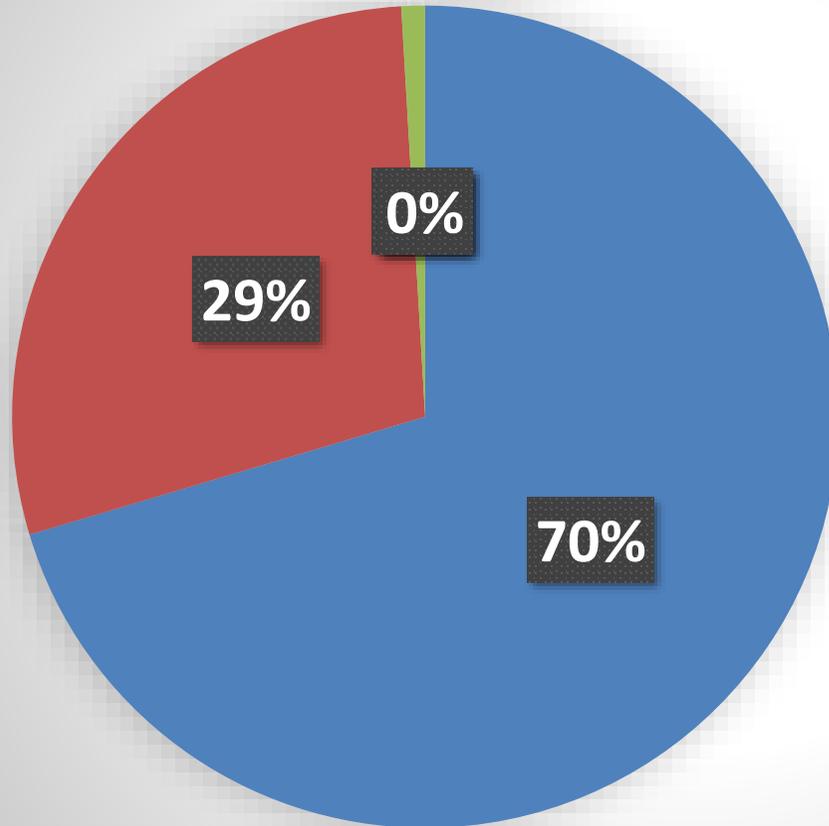
平均22.2年(中央値23年 2-37)  
 平均7.3年(中央値 3年 0.25-32)

	医師	事務	その他	総数	医師	事務
H292回	57%	35%	7%	110	23.1[25.5, 2-37]	6.9[3.0, 0.25-35]
H301回	59%	33%	8%	127	23.8[25.0, 1-38]	6.5[3.0, 0.25-35]
H302回	57%	35%	8%	117	22.5[21.5, 3-40]	5.3[4.0, 0.00-27]
R元1回	60%	33%	8%	120	22.9[24.0, 1-40]	<b>10.2[5.0, 0.25-36]</b>
R元2回	57%	35%	8%	134	21.6[21.5, 1-40]	5.4[3.0, 0.40-36]

赤字:上職に参加するように要請

# 会議の感想 99%が参考になった回答(職種間に差は認めず)

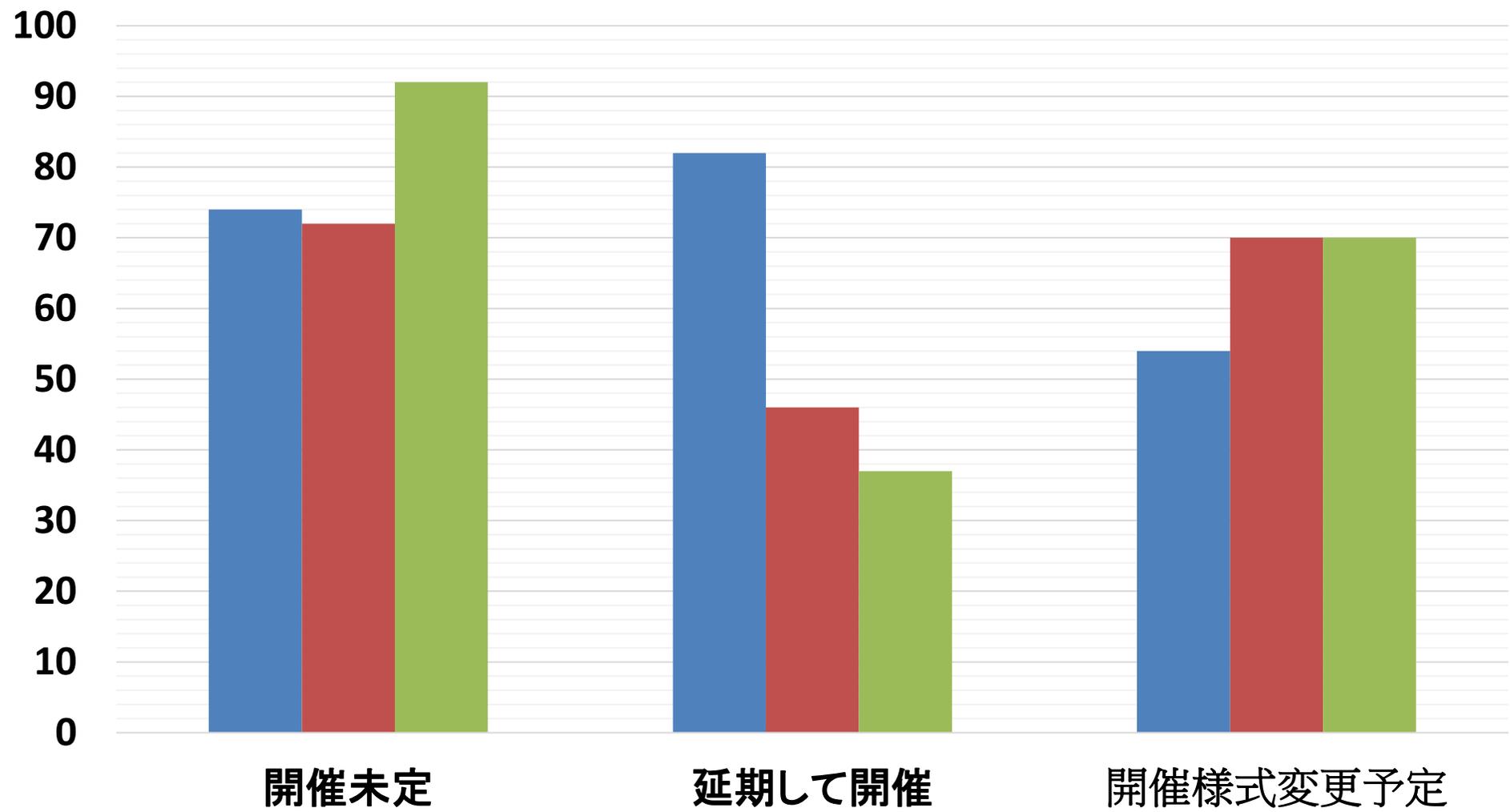
会議の感想(n=216)



- 大変参考になった
- 多少は参考になった
- どちらともいえない
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった

# コロナ禍活動啓発活動(=院外)が最も影響大、Co研修会も様式変更

■ 肝臓病教室 ■ Co研修会 ■ 啓発活動



# webで良いと回答した自由記載

## 繰り返し・自由な時間に視聴可 (特に事務・経験年数↓)+感染状況から

- ・聞きなれない言葉や聞き逃した部分を戻って再度確認できてとてもよかった。(看護師1年目)
- ・webを用いて双方向の会議ができると、リアルタイムで各拠点病院の実態が把握できて、更に良いと思われる(看護師23年目)
  - ⇒双方向になるとLIVE配信。下記をみると録画配信も必要 (情報c)
- ・web開催の方が多くの方が視聴できて良いと思いました。(事務4年目)
- ・今後もずっとWeb配信でよい(事務6か月)
- ・プリントアウトした資料を見返すことができとても良いです。(事務11カ月)
- ・聞き取れなかった部分を確認できて良かったです。(事務11年目)
- ・聞き損ねたところを戻せるので理解しやすかった(医師2年目)
- ・WEBでの連絡協議会の“端緒”になると存じます。(医師29年目)
- ・COVID-19の鎮静化まではweb配信が望ましいと考えます(医師32年目)
- ・短時間で簡潔にポイントを押さえていて分かりやすかった(医師31年目)
  - ⇒時間配分は同じ 活動報告等がなく協議会時間は半分へ (是永)
- ・今年度集合型は難しそうな気がします。(医師23年目)
- ・予算、時間の面からWebでも十分と思われます(医師5年目)
  - ⇒予算は情報cが負担ですが2名までとなります。

# できるだけ集まると回答した自由記載(17%)

## コミュニケーションの場として必要⇒感染が落ち着けば

- ・制限がなければ直接顔をかわせるコミュニケーションは重要だと考えるので(医師17年目)
- ・集まったほうが良いが、状況から最適な開催方法を選択する(医師30年目)
- ・今年度から肝疾患相談センター担当になったので、今後の活動の参考になりました。  
(看護師15年目)
- ・せつかなので状況が許せば集まりたい所ですが、現状を鑑みるとWebの形も悪くないかと思えます(視聴時間もある程度自由に設定できるので 医師29年目)
- ・現状ではweb配信の方が良いとは思いません。(MSW2年目)

⇒許されれば集合型開催希望は有(情報c)

# どちらとも言えないと回答した自由記載(19%)

## 集合型とwebを取り入れる方向性⇒webのみでは不十分と

- ・講演はWEBの方が視聴しやすい。一方、ブロック会議など自治体も参加する会は、会場に集まれば意見交換ができる。(医師 30年以上)  
1回はweb配信でよい(医師26年目)
- ・web+現地に集まれる人は集まるのハイブリッドがよい(看護師18年目)
- ・今年度はweb配信がいいかと思います。(看護師28年目)
- ・現在の状況から考えますとwebでもよろしいかと思いますが、講義のみではなくディスカッションがあったほうがいいのかと思います(とすると。Live配信でしょうか?)。そのほうが各拠点病院での情報共有や刺激になるのではないかと考えます。また、webだと発言しにくい場合も出てくる? ようでしたら、年に1回は集まって開催し、ディスカッションをとりいれた研修会をしていただきたいと思います。(冬季開催は交通の関係上webがいいです 看護師24年目)

### 検討案

夏季:集合 冬季:web?

現地とWEBのハイブリッドでLIVE配信+編集した録画動画を後から配信?

# その他1(9%) 医療関係者⇒基本は集合・webを選択できる形

- ・できるだけ集まった方が良いが、このような状況ではweb配信となるのはやむを得ない。今回のWeb配信の皆様の御発表は時間がちょうどよく、またたいへん分かりやすく説明していただきました。(医師 24年目)
- ・内容と質による(医師17年目)
- ・感染が落ち着いても、web開催と対面式を織り交ぜて開催。(医師21年目)
- ・感染症が収まればWebと会議参加、選べるとよいと思います。(医師22年目)
- ・今年度はweb配信が良いが、今後の状況次第で集まる事も考慮(医師29年目)
- ・「顔が見える会議」の利点もちろんありますが、web配信でも非常に分かりやすくご説明いただき大変参考になった。業務の空き時間などに配信を見られ、場所と時間を選ばないこと、何度も見返せることが利点であり、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止等を考えると、web配信していただいて良かったと考えます。(保健師9年目)
- ・次期ブロック会議の幹事施設や発表施設は東京に集まり、他施設はWeb参加という混合での開催も(医師24年目)
- ・配信期間を長くしてほしい(医師22年目)
- ・大きな変更点がない場合はWeb配信でも問題ないが、新しい事業や制度が開始される場合は従来通り集まった方が質問や討論がしやすく、理解を深めやすいと考えます(医師17年目)
- ・集まるメリットもありますが、時間にあわせてweb配信は大変良いと思います(医師37年目)
- ・webで情報交換ができればと思います。(医師 30年以上)
- ・年2回のうち1回はwebでも良いと思います(医師 23年目)
- ・集まって聞いた方が集中はできる気がする。しかし外来を休まなくても良いなど、メリットは大きい(医師17年目)

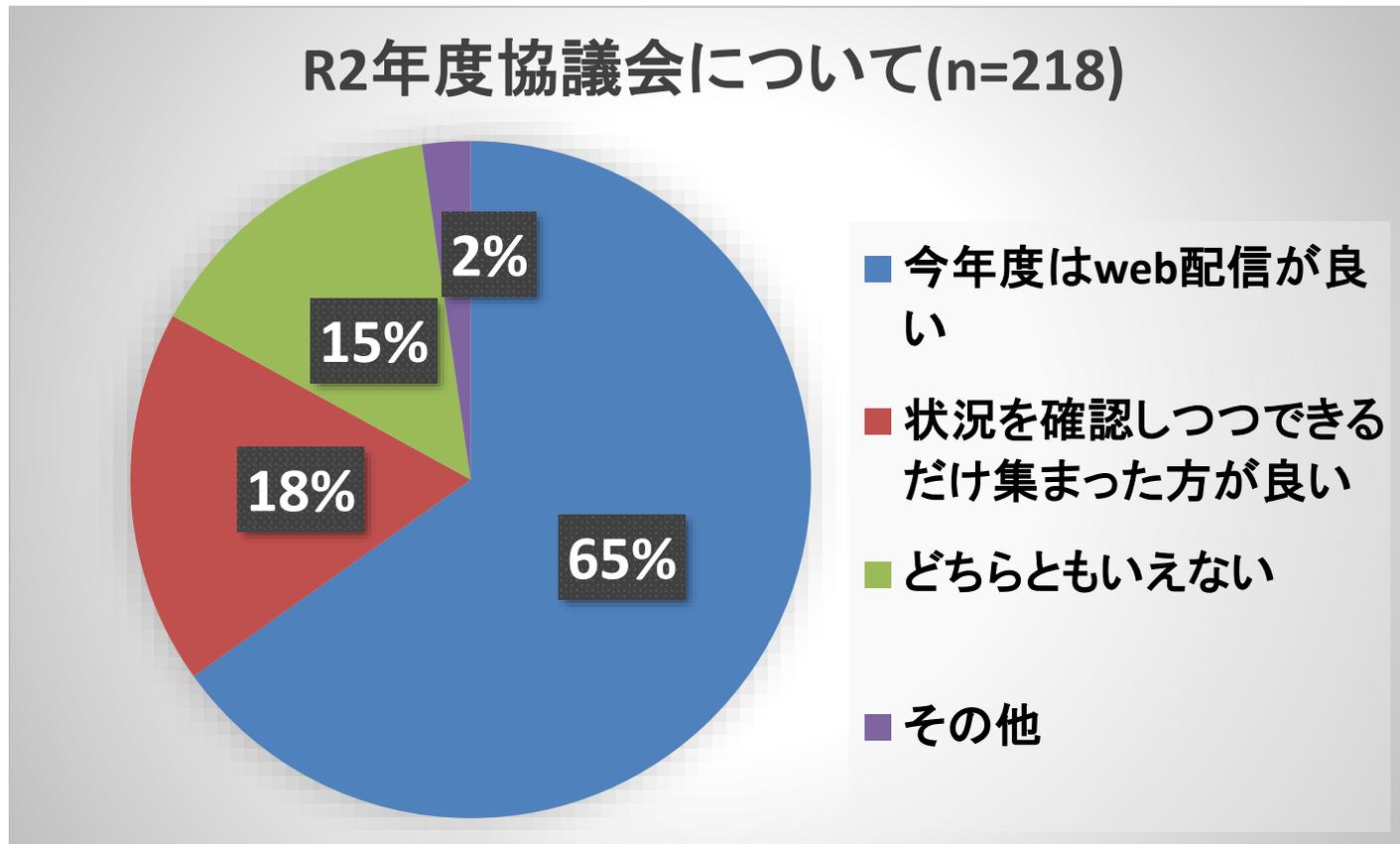
## その他2(9%) 事務担当⇒基本はwebがbetter

- ・状況により判断でよろしいかと思えます(事務2年目)
- ・できるだけ集まった方が良いと思うが、普段参加できない人も見る事ができるので、そういう点ではweb配信も良いと思う。(事務9年目)
- ・医師は集会・交流が必要かもしれないが、事務担当はwebで十分。聞き逃した部分を再度聞けるので理解しやすかった。(事務2年目)
- ・初めて参加させていただきました。全く様子がわからない状況でしたので、私個人的には、初回だけは集合形式の会議に出席できた方が、全体的な流れや直接質問するなど、気軽に相談しやすかったかなと思います。(事務 3か月)

音声を出せないなので、字幕を見たが誤字、漢字の変換ミスが多く自動変換したためと思われるが、確認した方が良い。(自動変換修正が出来ないのであればYouTube以外の媒体を使われるのが良いと思われる。(事務2年目)

⇒できたらイヤホン等を使用され視聴くだされば幸いです (情報c)

# 令和2年度第2回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会開催 について 65%が今年度はweb希望



- ・Web配信でもよいと思いますが、参加者も発言等が可能なZoom等を利用したWeb会議の形式にしてもよいと思います(事務1年目)
- ・本年度だけではなく、今後ずっとWebが良い(事務0.5年目)
- ・そのときの東京での感染者の状況によるので何とも言えないが、1月はインフルが流行る時期でもあるので、来年度からは2回とも時期をずらすか、webと交互に開催してはいかがでしょうか？①5～6月、②10～11月など